

JAPAN

■ Intertextile 上海『Japan Pavilion 2013』

展示会名: Intertextile SHANGHAI apparel fabrics 2013

会期: 2013年10月21日(月)~24日(木) 9:00~17:30(最終日のみ 9:00~14:00)

主催: Messe Frankfurt(HK)Ltd、

中国国際貿易促進委員会紡織行業分会(CCPI. tex)

会場: 上海新国際博覧中心 出展場所: Hall W2 内

□ Japan Pavilion 2013

概要: ジャパン・トレンド+ジェットロ広報ブース(10小間)

ビジネスコーナー(商談ブース)100小間+168㎡ 計129小間(9㎡換算) (前年129小間)

参加企業・団体: 44社・団体 (前年 41社・団体)

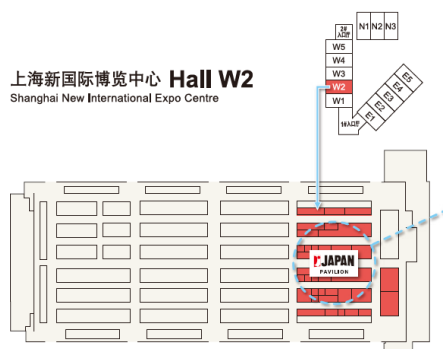
主催: 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構

独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)

【概要】Intertextile 上海にJapan Pavilion(JP)が出来て10年目となる今年、ヨーロッパへの輸出は未だ回復されず、更に円安が大きく進んだ事により、例年以上に日本企業も中国輸出への意欲と期待がますます高まる傾向にある。中国経済の減速という要素はあるものの、世界中からビジネスチャンスを求める出展者エントリーが同展に殺到している。JFWとジェトロとの共同運営の「Japan Pavilion2013」は、昨年と同規模で開設する。JPは、この展示会場内のベストロケーションに日本の企業を集積し、日本のテキスタイルトレンドを発信するとともに、日本の優れた企業が集結し、ジャパン・クオリティーをプロモーションします。

《Japan Pavilion 新型統一ブース》

Intertextile 上海に出展するナショナル・パビリオンの中でも、最大規模となる韓国・台湾パビリオンが昨年よりW1ホールからW2へ移動してきた。JPは動線上の絶好の位置にあるものの、巨大パビリオンに挟まれる環境から、従来以上に日本の存在感を強くアピールするため、統一ブースのフルモデル・チェンジを行った。今回導入した新型の統一ブースは従来のスタイリッシュさに加え、力強さとデザイン性、視認性の高さを重視している。



《Japan Pavilion JAPAN トレンド(JETRO)コーナー》

毎回、来場者が注目し、集客力のある JAPAN トレンドコーナー。今回のスペース環境演出は、「日本発オリジナル素材を集めたトレンド発信の“大きな箱”」をイメージ。JAPAN(JFW)と大胆に切り抜かれた外壁の黒と、内壁の明るい白のコントラストがインパクトを放つデザイン。

内部はトレンドテーマ別、及びエコ関連で構成された素材

を展示。コーナー最深部は JETRO 招聘バイヤーとの商談コーナー(セミクローズ)を設置する。



「Japan Pavilion 2013」出展企業の声 * 出展者リスト: 別添ガイドブック参照

東レは、環境配慮型素材と '14AW 向けの開発素材を中心に、欧米の展示会に出品した素材を提案する。中国の成長率はやや鈍化したとはいえ、依然、経済全体は拡大している。中でも中間層～富裕層の購買力が伸長している中国、アジア新興国に今後も期待をしている。今回はジャパンパビリオンのメインゲートに昨年より小間を拡張し出展する。

小松精練は、9月の Premiere Vision に出品した商品群。(デジタルプリント「モナリザ」、欧米著名メゾンへ販売している軽量ナイロンダウン素材) その他に、既存品を中心に縫製品での訴求を目指す。トレンドとなっている天然繊維の表情を持った合織の後加工商品(ウールライク等を織・編み・加工・プリントにて表現)、天然繊維の模擬でなく合織の風合いで天然繊維の表情を持たせた商品などを中国市場向けに提案する。

日本独自のハイテク素材を得意とする第一織物は、ノンコーティング、ノンラミネートながら高い耐水圧を持ち、更に、柔らかさと膨らみを持たせた当社独自の新素材を提案。テキスタイル産業は世界的に見れば成長産業。日本で培った技術を軸に適地生産・販売を強化し、世界市場で販売拡大を目指す。

ハイエンド市場では、きれいな表面感、軽量感がトレンド。極細の糸を使用して丁寧に織り上げたダウン用の極薄素材(第一織物)、世界一薄いシルクのプリントと、シルク/カシミアの交織素材。(齋栄織物)、極細糸を使用したリネンストール(林与)など、各社、培った技術で造ったオンリーワン素材を提案する。

商品開発力のみならず、安定した品質やデリバリーも日本強み。瀧定名古屋は、自社の品質基準を基に中国メーカーとの友好サプライチェーンで生産し、日本で培ったサービスを“強み”としてアピール。また、現地社員の育成強化により独自のビジネススタイルを確立します。

平成25年度 今後の JFW テキスタイル事業

【 国内事業 】

■ Premium Textile Japan 2014 Autumn/Winter

日時:2013年11月20日(水)~21日(木)(10:00-18:00)

会場:東京国際フォーラム ホール2(2,000㎡)

来場者:バイヤー及び招待者限定 [入場無料]

2014 AUTUMN WINTER



Premium Textile
Japan

PTJは、付加価値の高い素材を作り出すテキスタイルメーカーと、本物のブランド・商品を市場に提供しているバイヤーとのビジネスマッチングの場として、今回で6回目を迎える。過去5回の好評な開催実績を背景に、今回は過去最高の応募申し込みがあった。また、昨年からは会場を東京国際フォーラムに移した事で、来場者から「アクセスが便利になった」という声が多く聞かれ、前回のPTJ展では S/S 展として初めて5,000人を超える来場者を得た。特に、PTJの1番の特徴であるバイヤー比率の高さ(87%)が示す通り、PTJは、単なるお祭りではない“真剣なテキスタイル・ビジネス商談会”として定着し、業界にとって最も重要なイベントとなっている。



□ 出展状況: 64社/90小間

* 海外3社(トルコ、台湾)/4小間

ゾーン	出展品目など	件数/小間数(8㎡換算)
A	短繊維(コットン、麻、ウール、複合)	26社/35小間
B	長繊維(化合繊、シルク、機能素材、複合)	18社/29.5小間
C	染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	9社/9.5小間
D	服飾資材、アクセサリ、燃糸、ニット、パイル	11社/16小間

* 出展者リスト: ホームページ参照

□ ビジネスサポート・プログラム

○ ビジネスマッチング・プログラム

VIP バイヤーを組織し、会期中に参加企業とのマッチングを行う。PTJの要をなすプログラムとして、より内容の濃い商談ができる様に改善を重ねています。

【参加バイヤー: アパレル・小売メーカー】

★ 株式会社アバハウスインターナショナル(参加ブランド: 5351 Pour Les Femme / qualite)

★ 株式会社東京スタイル(STYLE ME / 22 OCTOBRE / SCENE DUEX)

★ 株式会社高島屋 クロスメディア事業部 カタログ営業部

【参加バイヤー:デザイナーメゾン】

★ A DEGREE FAHRENHEIT / 天津 憂(株式会社212)

★ DRESSCAMP / 岩谷 俊和 (株式会社IWY)

★ Yukiko Hanai / 花井 幸子 (株式会社花井)

★ Sise / 松井 征心 (MARK STYLER 株式会社)



■ JFW Textile View (2014-15 Autumn & Winter Trends)

JFW TEX.Divが毎シーズン発信するテキスタイルトレンド。欧米からのトレンド情報に流されること無く、四季の移ろいによる感性と日本語を大事にした JFW Textile View の‘14-15A/W 向けトレンドの概観は—【有言実行する器】「グローバル化する社会の中で、次の時代を予測し、導き、変化に対応し、日常生活の中で受けるインスピレーションを胸に大きな一歩を導き出す事が大切。実際のアクションと発する言葉の一致が必要になってくる時代」と捉えている。 (* 詳しくは別添「JFW Textile View」参照)

■ トレンド・コーナー(東京国際フォーラム B1F ロビーギャラリー)

■ インデックス・コーナー(PTJ、JFW-JC 会場入口)

JFW Textile View2014A/W トレンド・ディレクションに基づき、企画開発したPTJ/JFW-JC出展者のテキスタイルを編集・展示したトレンド・コーナーは、毎回趣向を凝らした施工が話題となる注目のコーナー。今回も Intertextile 上海のトレンド・コーナーの施工デザインを、東京用にアレンジして設置予定。PTJ/JFW-JC 出展各社の新商品・イチ押し素材を展示するインデックス・コーナーは、各会場入口に配置し、来場バイヤーを出展小間へ誘導します。



■ JFW JAPAN CREATION 2014

日時:2013年11月20日(水)~21日(木)(10:00-18:00)

会場:東京国際フォーラム ホール1(3,000㎡)

来場者:バイヤー及び招待者、業界関係者、学生

[入場料] 当日 2,000円、事前登録・学生割引 1,000円

JFW
JAPAN
CREATION
2014

JFW Japan Creation(JFW-JC)は、全国の繊維産地・企業が一堂に集結する国内唯一の繊維総合見本市として、商談の契機とするだけでなく、出展者の技術・商品を新規顧客にプロモーションし、バイヤーとの生の意見交換から商品開発の方向を定め、オンリーワンのものづくりを進めていく場でもある。

昨年より東京国際フォーラムに会場を移し、更に、認知度の高まったPTJとの併催により相乗効果がupした事で、今回の出展申込みは過去に無いスピードで小間が埋まり、多くのウェイティング出展者を抱える事となった。



□ 出展エントリー状況 : 261社/225小間

* 出展者リスト: ホームページ参照

ゾーン	申込み件数	総参加企業・団体数	小間数 (6㎡)
テキスタイル関連	59	172	141.5
内)海外出展者*	11	33	37
繊維関連・製品	8	21	19.5
毛皮・皮革	5	42	44
服飾資材、刺繍・レース	16	26	20
合計	88件	261社	225小間

* 海外出展者: 韓国 1件 16小間、台湾 3件 10小間、香港 2件 6小間、タイ 5件 5小間

■ 関連プログラム

● Forum(セミナー)

第一線で活躍する講師陣が日本のテキスタイルやファッション、マーケットの最新情報やテーマに沿った解説を語る“Forum”。今回も旬な話題をテーマに、計4本を実施予定。(日本語のみ)

● 産学コラボ 第7回『FORM PRESENTATION』(東京国際フォーラム ロビーギャラリー)

—Textile Theme:「ウールの進化・2」、—Fashion Theme: “Dramatic Biz”

次世代の人材育成を目的とした産学コラボレーションの今年の題材は“ウール”。日本を代表する毛織物企業“ニッケ”のご協力を得て、ウールの新しい価値創造を追求しました。応募作品の中からデザイン審査で選ばれた8グループの学生が、贅沢で官能的なカラーテーマとウールのスタンダードな魅力を連動させた“色彩と素材”の妙味が放つドラマティックでコンテンポラリーなオフィシャルスタイルを表現し、作品を展示発表します。

○主催:繊維ファッション産学協議会 ○特別協賛:一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構

○協賛:UA ゼンセン ○協力:ニッケ(日本毛織)

● PIGGY'S SPECIAL ピッグスキン・ファッションショー (主催:東京都、東京製革業産地振興協議会)

毎回、東京を代表する若手デザイナーを起用し注目を集める PIGGY'S SPECIAL。東京国際フォーラム D7 ホールにショー専用会場を設け、プロ部門／学生部門、各2回(計4回)のランウェイを実施。

【PIGGY'S SPECIAL SCHEDULE】

11月20日(水) 13:30-／15:00- Yasutoshi Ezumi / et momnakia

11月21日(木) 13:30-／15:00- 東京都各種学校、専修学校の学生作品